



日進中だより

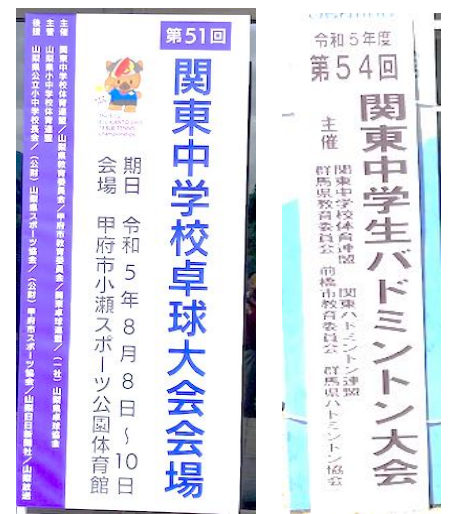
学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和5年 8月29日
第 6 号
さいたま市立日進中学校
TEL 048-663-1251
FAX 048-663-0834

『信じる』

校長 小熊 誠

38日間の夏休みが終了しました。今年も日進の夏は暑く、熱く燃え上がっていました。10の部活動・約140名の生徒が参加した県大会では、男女卓球団体が県大会アベック優勝、男子バドミントン団体が3位・女子団体も3位、女子柔道団体が3位、男子バレーがベスト8、野球がベスト16、と痺れる闘いを繰り広げてくれました。結果、卓球男女・男子バドミントン・女子柔道が関東に駒を進めました。特に卓球女子は11年連続・卓球男子は9年連続関東大会出場です。4部活ともあと1歩のところで全国を逃しましたが、関東にも日進魂をしっかりと刻んでくれた試合でした。そして、本年度唯一の全国大会の切符を掴み取り、香川県で勝負に挑むことができたのが、女子水泳自由形でした。文化系でも、広報委員・11組・美術部で取り組んだ「日進七夕まつり」の行燈と七夕かざりは、「優秀賞」と「天の川賞」を受賞しました。また、市内美術部展の入賞者の作品が11月の「さいたま国際芸術祭 2023」で展示されることになりました。素晴らしいです。そして今年も学校選抜の駅伝の練習も始まり、総勢約70名が7回の練習を走り切りました。



1学期の終業式に生徒たちと交わした「2つの約束」の1つ「決めたことをやり切る」。生徒たちがこの約束を果たしてくれた結果であると感動もひとしおです。世界陸上の女子槍投げで金メダルを獲得した、北口選手は、「必ず私が歴史を作る」・「私は最終投擲に強い」・「私は絶対勝つ」・「世界で一番になる」と強く信じ続けていたそうです。それは、やれることを、徹底的に、とことん、納得いくまでやり切ったからこそ、努力したからこそ、始めて身についた、「本当の自信」です。だから、あんな緊張した土壇場になっても自分を信じ揺ぎない強い気持ちを持ち続けられ、あの6投目が生まれたと思います。そして、その努力を、見守り、認め、北口選手を信じ、声をかけてくれる、家族や仲間、コーチの存在が、その力を「メガ進化」させた大きな要因になったと考えています。



保護者・地域の皆様、日進には、きっと他にも「決めたことをやり切る」ことを実践し、大きな自信を手に入れ、輝きを放ち始めた生徒が沢山いるはずです。是非、生徒たちが放つあらゆる輝きに気づき、信じ、認め、声をかけていただけると幸いです。きっとそれが、彼らが身につけた自信を力に変えるスイッチとなるはずです。そして、北口選手とセケラックコーチのような、明るく、本当に信じ合える深い信頼関係を目指していきましょう。『信じる』ことです。それが、日進の生徒たちを、さらに輝かせ「メガ進化」させる一番の近道となるはずです。

本日から始まる2学期、まだまだ暑い日が続くことが予想されます。また、新型コロナウイルス感染症等の影響の心配も消えていません。皆様どうぞ、お体には十分御留意ください。そして、引き続き日進への御理解と御協力、そして温かい御支援をよろしくお願いします。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校